

「通所支援事業」では何をしているの???

前号では、「三重病院の通所支援事業って?」ということをお伝えしましたが、今回は通所支援事業では、実際「どのように過ごしているのか」について、お伝えしたいと思います。

三重病院の「通所支援事業」は、南棟の療育室で行っています。利用者さんが来室されたら、検温・バイタルチェック、医師の診察を行います。その後、療育活動の時間が始まります。療育活動は、スヌーズレン、ムーブメント(パラシュート)、ハンモック、制作、散歩等を行います。その中でも、今回は「スヌーズレン」について紹介したいと思います。皆さん、スヌーズレンをご存じですか?

スヌーズレンの語源は2つのオランダ語、スニッフレン(クンクンとあたりを探索する)、ドゥースレン(ウトウトくつろぐ)から造られた造語であり、自由に探索したり、くつろいだりする様子を表しています。光、音、におい、振動、温度、触覚の素材等を組み合わせた「感覚」を重視した活動です。通所支援事業では、部屋を薄暗くして、バブルチューブやサイドグロウ、アロマライトなどを点灯させると、利用者さんは目をきらきらさせて期待のまなざしで見入っています。職員も一緒にうっとりする至福の時間です。

このほかにも、通所支援事業では、食事や排泄支援・リハビリ…など、さまざまなことを行っています。ぜひ、興味・関心がある方は、通所支援担当(丸澤)まで、ご連絡ください。お待ちしております。(指導室 丸澤 由美子)



やまばとギャラリー 個展 information 情報コーナー

雨がしとしとと降っている日は、家の中も外も何だか暗い感じがしませんか?こんな時は「てるてる坊主」を作って、天気がよくなるようお願いしましょう。6月のギャラリー展示は、おしゃれな服を着た、てるてる坊主です。いろいろな表情をしたてるてる坊主に会いに、やまばとギャラリーへ遊びに来てください。(児童指導員 筒井 皓太)



5病棟の生活のひとコマ 37

5月の誕生会は、ボランティアの桑ノ木さんに唄紙芝居を披露していただきました。手作りの楽器演奏で季節を表現したり、病棟スタッフが太陽や花、鳥になり患者さんとふれ合ったりしました。患者さんたちは、一緒に歌を楽しみ、いつもと違うスタッフの様子を見て笑い、とても楽しい時間を過ごすことができました。(児童指導員 筒井 皓太)



安全便り 6月

Medical Safety Letter

医療の安全対策をお家でも試して見ませんか Part 2

危険予知トレーニング KYT!!! 事故となりうる場面を予測し回避することを目的とするトレーニングです。

おうちにはどんな危険がひそんでいるでしょうか?

なんだか、どっかケガしそう

水遊び? 頭から…あっ!

あなたの家にはどんな危険がひそんでいますか? KYTで危険を回避しましょう

欄に上ってます。落ちそう。

医療安全推進担当者部会 副看護師長 鈴木 啓介

NHO PRESS 国立病院機構通信 第7号発行しました

アンケートにご協力ください! 抽選で書籍プレゼント!

【シリーズ】セーフティネット医療〜神経・脳腫瘍の最新情報〜

【シリーズ】地域医療推進センターの医療期展望

【特集】こんな取り組みやっています

【特集】調剤の管理業務が可視化されたのがこのレシピ

【特集】もしもの備え

NHO PRESS 電話: http://www.hosp.go.jp/nho_press.html

外来ホールに設置しているので、ご興味のある方はご覧ください。